

2003年2月28日(金) 15:25~15:50

JouanRobotics の提供する新しい自動化機器と保存システム

和研薬株式会社

鶴田 英明

フランスを中心に生物実験用の機器を開発製造してきた Jouan 社が JouanRobotics という名の下に自動化用の各種ワークステーションを開発いたしました。本年より和研薬株式会社がこの JouanRobotics の製品の販売とサービス、メンテナンスを行なうこととなりました。

Jouan 社は既にフルレンジの遠心機、フリーザー、インキュベーターなどでヨーロッパを中心に市場をリードしてきました。同社はこの技術を基に、各種の自動化用ワークステーションの開発を行ないました。20 までの低温保存が可能な自動化合物保存庫 MolBank (マイクロプレート 2500 枚収納可能) は既に市場で評価され、多くの生化学開発企業および製薬企業で使用されています。

新たに低価格の小型から大型までのシリーズを揃えた CoolBank シリーズを発表し、また、世界で初めての現実的な 80 の自動試料保存庫 RoboCool を先に行なわれた LaboAutomation2003 にて発表いたしました。本発表ではこの画期的な機構についてもご説明いたします。

この他に、独自の方法により他の機器とのアクセスを飛躍的に改善したロボット対応型自動遠心機 GR4Auto と小型 (マイクロプレート 44 枚仕様) から大型 (マイクロプレート 1000 枚仕様) までのラインナップを揃えた自動化用インキュベーター AutoCell シリーズをご紹介します。

また、小型のワークステーションの接続により、効率的な自動化を容易に実現するためのツールとして開発された Hudson PlateCrane について、その機構とソフトウェアについてご説明いたします。